

同期会
便り

第二〇回生

「名前がついた！」

志田 裕 (20回)

五年ほど前より同期会を夏と冬の二回開催が恒例となっている。夏はチョット早目の軽い夕食を取りながら会話を楽しみ、さらに続けてカラオケを楽しむ。冬は発起人の意向で、「何か」ひとつ楽しみを加えることにしている。例えば小さな美術館に向く。また動物園や、ペーパリーフ摘み等で騒ぎながら会食へと続く。昨年は横浜で「赤い靴バス」



に乗り込んでみた。この「ワイワイ」が「やがや」の会に名前をつける事になった。昨年の冬の会で命名者が鼻を「ヒクヒク」させながら「ドヤ顔で」由来を話していたが、さっぱり記憶に残っていない。話を聞いたので簡単に伝えてみたい。



昨年のエイ・ホウ会 中華街

名前「エイ・ホウ会」と言う。年齢を重ねても「エイ！」と気合を入れて新しい事に向かう心、若い人達からの提案にも「ホウ」と感心す

る心の余裕と感受性の高さを保って行きたいとの願いがこめられている。漢字では「永豊会」となる。出来るだけ多くの人達が「エイ」と昔の村高の輪の中に入れてきて欲しいと話していた。

また、ゴルフ好きが集まり、年に一度ゴルフコンペを楽しんでいる。ゴルフの会にも「一六会」と名前が付いている。



村上の「ム(六)」と「ミ(三)」から「ろくさん会」との話が出たのだが、「人の名前ではないか」、「誰も(ろく)と付く人は居ない」などの反対が出ると、行き当たりばつたりの二十回生らしく「じゃ、今日の日付で」との事から第一回が九月十六日だったので「一六会」に決まった。単純なゴルフ好きである。エイホウ会も一六会も関東支部の幹事役を引き受けたことから始まった。その準備の為に半年間の集まりを重ねることで会の「核」ができて楽しみが増えた。タイムングが合えば是非これらの会に参加して、チョット高校時代を思い出すことも楽しいはず。何があったとしても四十年以上前の事は既に時効なのだから。日程は関東支部のホームページで案内をまいりますので是非ご覧ください。(柏市在住)

ふるさとだより 「村上観光ごよみ」

村上市観光協会 専務理事・事務局長 澤 治(28回)

村上高校同窓会関東支部諸先輩の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は協会の活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。私は村高28回生です。一昨年は関東支部の総会にも参加させていただきました。このたび寄稿の依頼を受け地元村上観光の情報をお伝えします。



さて、村上市観光協会も市役所より自立して三年、村上市全体の新生観光協会として歩み始めて二年が経ちました。山北地区から荒川地区まで、ようやくひとつの観光協会として動き出したところです。

皆さんの故郷村上は、多かつた雪も解け暖かい春が訪れ、そして村上の名産村上茶新茶の季節を迎えました。



観光協会では毎年、村上茶の普及を目的に「村上茶摘み体験」を実施しております。茶摘みを体験した後は、摘みたての新芽を天ぷらにして茶そばや茶菓子いただきます。また、村上茶の歴史とおいしい淹れ方を学びながら日本茶インストラクターの淹れてくれる新茶いただきます。そして最後に、いま淹れた新茶の茶殻も天ぷらにさせていただいてしまうという村上ならではの体験が出来ます。5月25日には、神林地区のお幕場で大々的な茶会が開催されます。

そして7月7日は村上大祭です。観光協会では7日の朝、おしゃぎりが羽黒神社を出発するところをゆっくり座って見ていただけるようにと、長井町に二百席の棧敷席を作っています。

山北地区笹川流れでは、あの岩がきが食べられるようになり、ほどなく海開きが行なわれ海水浴場の幕開けとなります。

8月3日・4日は荒川地区のあらかわ大祭が、8月15日には朝日地区の大須戸能新能が行なわれます。

村上市全域でいろいろな催し、伝統行事が行なわれる季節となります。

観光協会ではこのような行事や催しをひと目で分かるように、村上市全域の観光ごよみを作成していますので、帰省の際にはご利用ください。

村上市が益々魅力あるまちになるよう私たちは観光による交流人口を増やし、観光によるまちづくりに努めて参ります。先輩の皆様にはお友達、お知り合いを連れて何度でも帰省し、ふるさとを賑やかにしていただければ幸いです。



村上観光ごよみ 協会HPからダウンロードできます